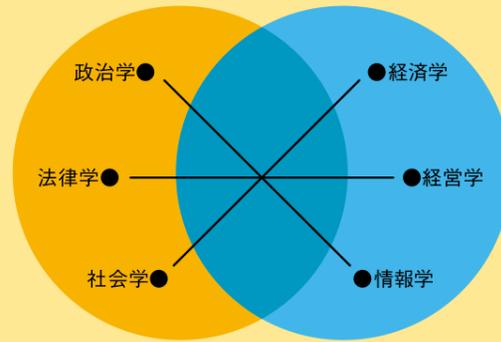


政治経済学科の学び

世界と地域の視点を併せ持ち、現代社会を理解する
政治経済学科では、「政治学」「経済学」「法学」「社会学」「経営学」「情報学」という、社会科学を構成する重要な分野を全て学べます。現代社会を考える多様な視点が身につく、入学後に自分の興味・関心を見定めることもできます。国際社会の平和を追求するグローバルな視点と、地域社会におけるまちづくりの実践に繋がるローカルな視点を獲得できるよう配慮しています。

グローバル
国際社会



ローカル
地域社会

卒業生紹介

01 平間 健一

2007年政治経済学科卒業
タイムズサポート株式会社
ファイナンシャルプランナー
として活躍中!



聖学院で学んだこと

在学中は好奇心が刺激され続け、124単位で卒業できるところを、他学部履修を含めて183単位を取得しました。仕事で直面する課題を俯瞰的に見たり、相手の立場で考えたりできるのは、さまざまな科目を学んだことで多角的な物事の見方を養えたからだと思います。大学生活の集大成として取り組んだ卒業論文が最優秀賞を受賞できたことはよい思い出であり、私の誇りでもあります。

02 守永 彩乃

2016年コミュニティ政策学科
(現政治経済学科)卒業
Meiji Seika ファルマ株式会社
製薬会社のMRとして活躍中!



聖学院で学んだこと

政治経済学部に進んだのは、卒業後どのような職業に就いても発揮できる、社会人の基礎力が身に付くと考えたため。実際、在学中に力を注いで学んだコンピューターや情報学に関する知識は仕事を問わず求められますし、アカベラ部の活動を通して学んだチームワークは、今の職場でも大切にしています。在学中はもちろん、社会人になった現在も、ゼミの先生は頼れる相談相手です。

2019年度 説明会やオープンキャンパスに参加しよう!

オープンキャンパス (体験授業) 2019年6/29土 13:00~16:00 | オープンキャンパス 2019年7/20土 13:00~16:00 | 2019年8/3土 | 2019年8/16金 | 2019年9/28土 | 2019年10/12土 | 2020年3/28土

AO入試対策説明会 2019年6/1土 14:00~16:00 | 2019年7/13土 | AO入試対策説明会 2019年12/7土 13:00~16:00 | 2020年1/11土 | 小論文対策講座 2019年8/3土 9:00~12:00

オープンキャンパス (留学生対象) 2019年9/28土 10:00~12:00 | 入試説明相談会 2019年11/2土 13:00~16:00 | プレミアムオープンキャンパス 2020年2/28金 14:00~16:00

Love God and Serve His People
聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

政治経済学部 政治経済学科

お問い合わせ先 アドミッションセンター

☎ 048-725-6191 月~土 9:00~17:00

JR高崎線「宮原駅」西口
またはJR埼京線「西大宮駅」
北口からスクールバスが
あります。「宮原駅」西口、
「日進駅」北口から徒歩約15分

<https://www.seigakuin.jp>
〒362-8585
埼玉県上尾市戸崎1番1号
FAX 048-725-6891
E-mail:pr@seigakuin-univ.ac.jp



聖学院大学

政治経済学部
公開講演会
2019



ダイバーシティ

多様性に関かれた社会をめざして

— 日本社会の〈これから〉を考える —

申込不要・入場無料

聖学院大学

政治経済学部

ダイバーシティ
多様性に開かれた社会をめざして
— 日本社会の(これから)を考える —

本年、日本には一つの時代の変化が訪れました。「戦争のなかった時代としての平成」から令和へ、しかしそれは日本国内に限られており、世界地図を広げれば、至る所に紛争が、あるいは紛争の火種があり、更に私たちが知らない／気づかない地域でも暴力と差別と貧困の連鎖が再生産され続けている時代を私たちは生きているのではないのでしょうか。

一見、戦争のない平和な時代と思われる日本においても、私たちには「見えていない／気づかないでいる」暴力と差別と貧困の連鎖に覆われた社会が急速に拡がっているようです。

政治経済学部は、誰もが等しく個人としての尊厳を保障される社会の構築をめざして、下記の二つのコンセプトに基づく公開講演会を開催いたします。一方で、社会的弱者の法的支援の為、日々現場で奔走している女性の弁護士三名を招き、他方で国際社会に目を向け、「誰一人取り残さない社会」のために国連が採択した「持続可能な開発目標」(SDGs)を主題とする企画を実施します。日本社会が、そして地球全体が直面する諸課題を見据えながら、私たちは日々の生活の中で何ができるのかを共に考えたく願っております。皆さま、是非、ご参加ください。



政治経済学部 学部長・教授
高橋 愛子

Coordinator

Ⅰ

女性の 弁護士による 公開講演会

企画コーディネータ
政治経済学部 教授
石川 裕一郎



2018年度の「報道の現場から」に続き、今年度は「『弁護士』という仕事」と題する全3回シリーズ講演を企画、弁護士たちの日々の取り組みを通じて現代日本社会が抱える様々な病理について広く考える機会とします。

「多様性に開かれた社会」の実現には、すべての人が「個人として尊重される」(日本国憲法13条)ことが欠かせません。弁護士の使命は、その個人の「基本的人権を擁護し、社会正義を実現すること」(弁護士法1条)にあります。

今回は、第一線で活躍中の女性の若手弁護士3名をお招きし、日本国憲法が目指す社会像、在日外国人が置かれている現実、日本社会に根強く残る性差別について、鋭くかつ平易に語っていただきます。

Coordinator

Ⅱ

SDGs及び ダイバーシティを 主題とする 公開講演会

企画コーディネータ
政治経済学部 准教授
西海 洋志



聖学院は、2018年、国連グローバル・コンパクトに署名し、SDGsを「学院ビジョン」の中核に据えました。SDGs (Sustainable Development Goals) は2015年に国連で採択された17の目標で、全世界の協力の下、2030年までの達成が目指されています。これは、「政府」の目標ではありません。文字通り、企業や大学、個人を含む「全世界」の取り組みが必要とされています。

では、SDGsと私たち、SDGsと「多様性に開かれた社会」の実現は、どのように関わり合っているのでしょうか？ 個人や大学はどのような貢献ができ、どのように企業やローカル・コミュニティと協働できるのでしょうか？ 第一線で活躍されている方々をお招きし、多様な主体による協力を拡大・加速していく機会にしたいと考えています。

Ⅰ

シリーズ講演「『弁護士』という仕事」

コーディネータ：石川 裕一郎 教授

会場：聖学院大学チャペル



7/3
WED

10:40
12:10

「弁護士」という仕事と 日本国憲法

埼玉県生まれ。大宮高校を経て中央大学法学部卒業、同法科大学院修了。2007年弁護士登録(埼玉弁護士会)。埼玉中央法律事務所所属。女性・子どもの権利を始め地域に密着した様々な民事および刑事事件、また、貧困・労働等の社会問題に積極的に取り組む。日本テレビ「NNNドキュメント10:反貧困のオンナ・十萌子の日々」、雑誌「女性自身」の「シリーズ人間」等、数多くのメディアに取り上げられている。



豎 十萌子 弁護士
(たてともこ)

7/10
WED

10:40
12:10

「弁護士」という仕事と 在日外国人

奈良県生まれ。大阪大学人間科学部卒業、京都大学法学部卒業。旧日本債券信用銀行勤務を経て2010年弁護士登録(東京弁護士会)。東京パブリック法律事務所所属。とくに離婚・相続・DV等の家族問題、セクシュアルハラスメント問題に取り組む。最近では日本で暮らすフィリピン移民の問題、日本人男性とフィリピン人女性の間に生まれた子どもを育てるフィリピン人母たちへの支援にも精力的に取り組んでいる。



長谷川 弥生 弁護士
(はせがわ やよい)

10/23
WED

10:40
12:10

「弁護士」という仕事と 性差別問題

埼玉県生まれ。国際基督教大学卒業。2002年弁護士登録(神奈川県弁護士会)。湘南合同法律事務所所属。労働、性犯罪・性暴力等の諸問題に取り組む。2013年より「憲法カフェ」を開始。「怒れる女子会」呼びかけ人。テレビ朝日「朝まで生テレビ」、NHK「ハートネットTV」に出演。著書に『これでわかった! 超訳・特定秘密保護法』(共著、岩波書店、2015年)、『日本のフェミニズム』(共著、河出書房、2017年)など。



太田 啓子 弁護士
(おおた けいこ)

Coming soon

11/2
SAT

Ⅱ SDGs及びダイバーシティを主題とする公開講演会

講演会コーディネータ：平 修久 政治経済学部 教授

講演者

宝来館女将 岩崎 昭子
ほうらいかん (いわさきあきこ)

14:00 ~ 15:30

釜石の復興を担い続けた
女将が描く
“釜石の未来”とわたしたち(仮)

※これ以外に、SDGs及びダイバーシティを主題とする二つの公開講演会を企画中です。ご期待ください。

春学期開催

秋学期開催

秋学期開催